

「第44回入学式式辞」

ここ数日來の温かい雨により、校庭や龍が山の木々が春の到来を告げるかのように、華やかに芽吹いている今日の佳き日、兵庫県立北須磨高等学校第44回入学式を、このように盛大に挙行できますことは、教職員一同、この上ない喜びでございます。

またお忙しい中にもかかわらず、多数のご来賓、並びに保護者の皆様のご臨席を賜りましたこと、心よりあつく御礼申し上げます。

只今入学を許可いたしました二百四十名の皆さん、ご入学おめでとうでございます。保護者の皆様お子様のご入学を心よりお祝い申し上げます。

本校は昭和47年に開校し、平成14年から単位制に改編され、今年入学された皆さんは44回生となります。「心清和、体清毅、生活清快」の校訓のもと、「自ら考え、自ら選び、自ら学ぶ」この単位制の理念を踏まえ、自主性を育み、知徳体の調和がとれた人の育成を目指してまいりました。

今皆さんは、期待と少しの不安を胸に、これからの高校生活に胸膨らませておられることと思います。そこで高校で身につけて欲しい力を、3つ挙げたいと思います。まず始めに、幅広い豊富な知識を身につけて下さい。基礎的な知識をどれだけ幅広く持っているか、それが今すぐ役に立たなくとも、豊かな教養の力は人としての幅を広め、多くの選択肢を導いてくれます。

次に多くの体験をして下さい。部活動で体を鍛える。技術を磨く。発表会やコンテスト・試合に出場する。また高校生活3年間の中には、長くつらい一日もあります。負けそうになったり、めげてしまうこともあるでしょう。しかしいろいろな経験を経て得た力は、次のステップへのばねとなり、大きな飛躍をもたらしてくれます。

最後に挑戦する力を養って下さい。本校は、今年から兵庫県で五校目のエネコスクールに承認されました。これまでの日々の教育活動が認められたわけですが、これから受ける授業や学校行事、そして部活動も含めいろいろな活動が、世界と繋がっているだという意識を持って、新しいことに挑戦して下さい。これら豊かな教養の力・経験から得た力そして挑戦する力は、皆さんがこれから継続可能な社会を実現する、大人となるために必要なものなのです。さらにこれからの高校生活において、毎日忙しく大変だからこそ、人と人との触れ合いの大切さも実感できると思います。自分の言動に対しより責任を持ち、一人一人が掛け替えのない存在であると自覚して、毎日を大切に過ごして欲しいと思います。

さて保護者の皆様に、一言お願いがございます。高校時代は心身ともに急成長をするとともに、まだまだ不安定な時期でもございます。お子様方をしっかり見つめ話に耳を傾け暖かく励まし、また時には厳しく律していただきたいと思っております。私たち教職員は、ご家庭と密接に連携し、手を携えていきたいと考えております。何か気がかりなことがございましたら、遠慮なくご連絡くださいますようお願いいたします。

最後に、この北須磨高校で、共に過ごし共に学ぶ一人一人に、新しい出会いがあります。ぜひ心の内を語れる真の友を作ってください。そして若さあふれる新入生の皆さんが、笑顔を忘れず充実した北須磨時代を送られますことを心より願って、式辞とします。

平成27年4月8日

兵庫県立北須磨高等学校

校長 山田 千香子

